



— 芹沢銈介の原点 —

のれん

2017年7月15日 **土**
~ 11月26日 **日**

静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂5-10-5(登呂公園内) 054-282-5522 www.seribi.jp

文字



「風の字のれん」(1957年 当館蔵)



「すすやのれん」
(1960年頃 株式会社すすや蔵)



「打てや双手を文のれん」
(1975年 柏市蔵)

文字、風景、人物、工芸品など、芹沢の新鮮な模様があしらわれたのれんは、広く一般家庭に普及し、暮らしを彩りました。この展覧会では「風の字のれん」「縄のれん文のれん」「朝顔のれん」といった代表作から、店舗用ののれんまで、幅広い作品をご覧ください。また「布文字春夏秋冬二曲屏風」「洲浜型四季文四曲屏風」など、のれん以外の作品 50 点、芹沢の収集品 30 点も展示します。

自然



「松竹梅唐草文のれん」(1939年頃 日本民藝館蔵)

自然を深く観察し、常にスケッチを欠かさなかった芹沢。自然をモチーフとした芹沢の文様はどれも日々のスケッチに裏打ちされ、生き生きとしています。

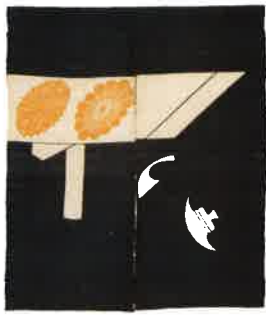


「稲文のれん」
(1955年頃 株式会社すすや蔵)



「梅にうくいす文のれん」
(1955年 株式会社すすや蔵)

芹沢銈介の染色作品の原点でもあり、また芹沢自身がかつとも好んだ「のれん」を特集し、全館に 70 点を展示します。昭和 4 年に制作した芹沢のデビュー作「蔬菜文壁掛」はのれんに近い形式の作品であり、昭和 7 年ごろから現在ののれんの形に落ち着いていったようです。以後多数ののれんを制作し、その数は 400 種におよぶといわれます。



「染屋文のれん」
(1960年 株式会社すすや蔵)



「登粟文のれん」
(1953年 株式会社すすや蔵)

手仕事



「機文のれん」
(1955年 株式会社すすや蔵)

芹沢が愛した手仕事。染色・陶芸・織物等、実際に足を運び、目にした手仕事の現場が斬新な型染で表現されています。



「縄のれん文のれん」
(1955年 当館蔵)

のれんの中にのれんを表現したり、のれんの分け目を朝顔のツルに見立てたり。見る者をはっと驚かせるような楽しいアイデアがあふれています。



「童児文のれん」(1970年 当館蔵)

アイデア



「朝顔文のれん」(1963年 当館蔵)

- 開館時間** 9:00～16:30 (全館閉館)
- 休館日** 毎毎月曜日 (7/17、9/18、10/9を除く)、7/18、9/19、10/10、11/24
- 観覧料** 一般 420円 / 高校生・大学生 250円 / 小学生・中学生 100円 / 未就学児無料 (団体割引 30名以上 50円引き、小中学生は 20円引き)
※静岡市内在住または静岡市内の小中学校に在学中の方は無料
※静岡市内在住 70歳以上の方、身体障がい者手帳等の交付を受けている方とその介助者 1名は無料
- 交通** 【バス】静岡駅南口22番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約12分終点下車、徒歩3分
【タクシー】静岡駅南口から登呂公園へ、約10分
【東名高速】静岡インターより、約10分
【駐車場】登呂公園南側に有料駐車場があります(普通車400円/1日)

出品協力：株式会社すすや、柏市、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、日本民藝館

※イベントなどの詳細は、ホームページ(www.seribi.jp)をご覧ください。お電話(054-282-5522)にてお問合せ下さい。



静岡市立芹沢銈介美術館
静岡市駿河区登呂 5-10-5 (登呂公園内) 054-282-5522 www.seribi.jp